

明日を担う若手職員を紹介します！

No.5 都市計画課 技師 阿曾沼崇さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第5回は、**県庁都市計画課の阿曾沼技師**です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成13年度入庁

二戸地方振興局土木部、一関総合支局土木部（現 二戸土木センター、一関土木センター）にて主に道路維持関係業務を担当してきました。

（現在）都市計画課4年目

「都市計画法に基づく開発行為等の許可」や「土地区画整理事業の認可及び補助事業関係事務」などを担当しています。



Q2 仕事の面白いところは何ですか？

公共施設の整備だけではなく、まちづくりに関わる様々な業務に携わっているのが都市計画課の特徴です。少々特殊なところもありますが、ここ以外では携わる機会の少ない業務も多く、非常に良い経験になりますし、都市設計やまちづくりといった地域形成の根本に携わることができるのが魅力です。自分が携わった地域に足を運び、地域の活力を体感すると感動しますよ！

Q3 仕事の難しいところは何ですか？

都市計画課の業務は、都市計画決定や開発許可など個人の利益・不利益に直接結びつく行政処分が多く、法令等をよく理解して適正に運用していく必要性をこれまでの職場以上に感じています。

Q4 どんな職場ですか？

感じたことや疑問に思ったことを率直に言い合える素敵な職場です。課題にはチーム全員で対応することが多く、いつも周りの先輩方にフォローしてもらっています。課が個室ですので、あまり立ち寄る機会が無いかもしれませんが、気軽に声をかけてくださいね！

Q5 最後に一言（今後の抱負など）！

今後とも、法令等を適正に運用していくことはもちろんのこと、少しでもまちづくりのお役にたてるよう業務に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします！



職場の様子。県庁7階青いのれんが都市計画課の目印です。是非とも気軽にお立ち寄りください！